

# 中村じゅんや 議員だより



連絡先(事務所)：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya\_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www4.tokai.or.jp/Junya\_susono/

## 新年あけまして、おめでとうございます。

皆さまからのご指導を賜る中、1年間の中で市議会議員としての知識・技術を学ばせて頂き、何とか2年目に突入することができました。まだまだ習得しておかなければならない基本的知識は数多く残っておりますが、市政への声の反映を増やし、生活の質向上に貢献できる様進んで行きたいと思っております。昨年と変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

## 12月に臨時会、定例会が開催されました。

### 【臨時議会】

#### ■一般会計補正予算(第3回)

国から地方創生先行型交付金の上乘せ交付金の内示もあり、議案が出されました。さあ、いよいよ人口増に向け動き出します。

##### ①職と住をつなぐ手段の調査費(300万円)

三島駅を活用し、首都圏や静岡市との通勤・通学利用状況を調査することに。三島直通バスの可能性を視野に入れた調査がいよいよ始まりますね。



##### ②子ども探検隊(130万円)

子どもたちに裾野市への愛着を深めてもらおうと、市内各地で専門家と共に良い処探しを実施

##### ③裾野7i77'le'ソ事業(300万円)

「移住者」「借家住まい者」「就職期の若者」に絞ったターゲットに対し、裾野での過ごし方をPRできるツールを整理します。

##### ④子育てするまちシンポジウム(230万円)

長泉との共同事業で、来る3月17日に予定。

### 【定例会】

#### ■一般会計補正予算(第4回)

3億円の補正を議決しました。

質疑など多かったものは次のものです。

##### ①裾野市発 屋上緑化推進事業(5,050万円)

国からの地方創生交付金5千万円を活用し、須山で育てる苗木を、首都圏のビル屋上緑化に活用しようというもの。ただ売るだけでなく、施工も手掛けることで雇用につなげるとか。さてどうなるか!?

##### ②認証保育所の施設整備助成(1,000万円)

保育事業に参入して下さる業者があり、先般設置した認証制度の準備をするものです。未経験事業者という事もあり、しっかり行政支援が成されるように多く議論されました。

##### ③小中学校トイレ改修工事について

耐震補強工事に併せトイレ改修(洋式化含む)を実施していましたが、文科省補助からトイレ部分は除外されることとなり、範囲が縮小されることに。学習環境整備は重要です。他の手法で継続できる様要望していきたいと思います。

### 【定例会】

#### ■議案(補正以外)

マイナンバー制度に関係するものや消防の広域化関連、子育て・地方創生関係を議決しました。私が注目するのは以下のものです。

##### ①特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例を制定する事

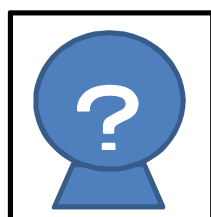
防衛補助金は単年度補助の為、複数年かかる事業には使えない状況でしたが、この条例により大規模な工事にも活用できるようになります。

##### ②裾野市副市長定数条例を制定する事

リーマンショックに伴う財政逼迫の際、副市長は2→1名としたそうですが、生き残りを懸けた現在の自治体間競争に打ち勝つため、2名に戻し、それぞれの専門分野で活躍してもらうことになりました。人選はこれから。

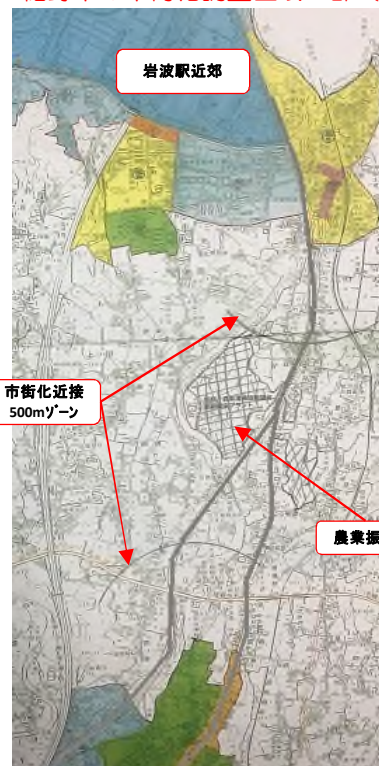


江藤副市長



WHO?

### ■裾野市の市街化調整区域一部(南北主要道路沿線)



今回の一般質問で使用した資料です。上の色が塗られている部分が岩波や工場等企业がある地域。下は石脇付近です。色が無い所が「調整区域」と言われ、新たに宅地等増やすことが制限されている部分です。

※他にも、、、  
・農業振興地域は市街化できない。

・市街化地域から500m以内はガソリンスタンドなどの沿道サービス新設ができない。

もったいない!

## ■一般質問（慣例から抜け出そう！）

県の許可範囲のものに踏み出せないものや、過去のやり方に留まっていると、思わぬ後悔を招きかねない。“何の為にやるのか” “できるのは誰なのか” 市の積極性を視える化しては？という質問です。

→表面の地図で、状況共有し質問しました。

### ①南北の主要幹線道路沿線を市街化しやすくする為、編入区域や用途制限変更に着手しよう！

国道246沿いの広大な土地を利用しないのは市の損失。また需要に応じ用途制限を緩和して積極的に産業を呼び込もう！という視点。

Q1. 国道246を南下する方にとって、裾野市内への誘導可能な大きな交差点は、深良上原交差点（県道とのY字路）と御宿平山交差点（都市計画道路との十字路）の2か所。この砦から市街地に来訪者を誘導する為には、道路沿線を活性化させ足を止めてもらうきっかけが必要。裾野市の生き残りを懸け、積極的に県の許可を勝ち得ないか？

A. 沿線活用は望ましい状況で検討してきたが、必要性、緊急性、確実性が伴わず、周辺農地への影響もあり道路沿線の市街化は難しい。

Q2. 市街化区域の宅地数との関係を待つのではなく、地方総合戦略の生き残り策を追い風として利用できる人口減少前の「今」が最大のチャンスであり、何もしなければ全てを逃してしまう。岩波駅周辺は第1種住宅地域だが、近くにある企業からは宿泊施設の要望、商店街では需要増の声がある。双方を解決する為、規模の大きなビジネスホテル等が建てられるように、用途制限を緩和することから着手してはどうか？

A. 土地利用ニーズは高まっており商店街活性化も想定される事から、岩波駅周辺の活性化を視野に国道246号沿いの用途地域変更を検討したい。

## ②スポーツ施設の指定管理者制度導入に対するモニタリング（評価）方法について

公的施設の管理において、新たな取り組みを行った時には、特に様々な評価を行うべきではないか？ “変更点の管理” について、認識を確認する視点。

Q1. 本年、指定管理者制度の活用で、複数あるスポーツ施設を一手に1事業者（新規）に管理させる事となった。来年から評価を行うとのことだが、1事業者といっても、実際はソフト・ハード面それぞれ別となるプロ2社の共同体で、それぞれの視点を市は有用すべき。また切り替わった初年度こそ、所管担当課は現場を頻繁に確認して、任せきりにしない事が事業者自己評価の信憑性を高め、住民サービス向上の効果につながられる。毎年同じ評価方法を繰り返さず、手法に変化があった時などの変化点には、しっかり確認できる仕組みを作るべきでは？

A. 利用者アンケート等評価の仕組みを様々検討し、効果が確認できる様進めているが、新たな取り組み初年度は、特に意識してその状態を現場確認するなど、市民にマイナスとならぬよう対応したい。

Q2. 指定管理は「コスト縮減」も評価対象だが、特にベストシーズンの運動公園では、夜のジョギングコースが省エネ消灯されていたり、緑化整備（樹木剪定や草刈り、雑草除去等）がしっかり行き届いていなかったりしていた。ローラー滑り台の復活や各種大会開催により、市内外からの利用者が増えている中、PR施設としての役割もしっかり指導する必要があるはず。安全やPRメリット等と、コスト縮減が天秤にはかられることが無い様、対象から除外すべき業務を明確に伝えることが必要では？

A. 指定管理したからと言って任せきりにするのではなく、市民の安全、市としてのPR効果をしっかりと業者に伝え、守るべきものと変えるべきものを協議していきたい。

## 各種活動のご紹介

富岡コミセンまつりにて  
赤い羽根共同募金呼び掛け活動



2市1町議員研修会



視察の感想や日頃の活動状況は、ホームページ、フェイスブックに掲載しています。そちらもぜひご覧くださいませ！

裾野っ原緑の会（呼子区）  
～河川敷・花壇植栽活動～  
（裾野高校ボランティア部と共に）



嶽南ふるさと古民家活用視察  
（長野県小諸町：よら館）



富岡地区郷友会研修に初参加



ものづくり産業労組（JAM）推薦の参議院（比例）候補 藤川しんいち氏が来訪。現場で働く労働者の為に！と気合を入れて全国行脚中。皆様もぜひお見知りおきを！